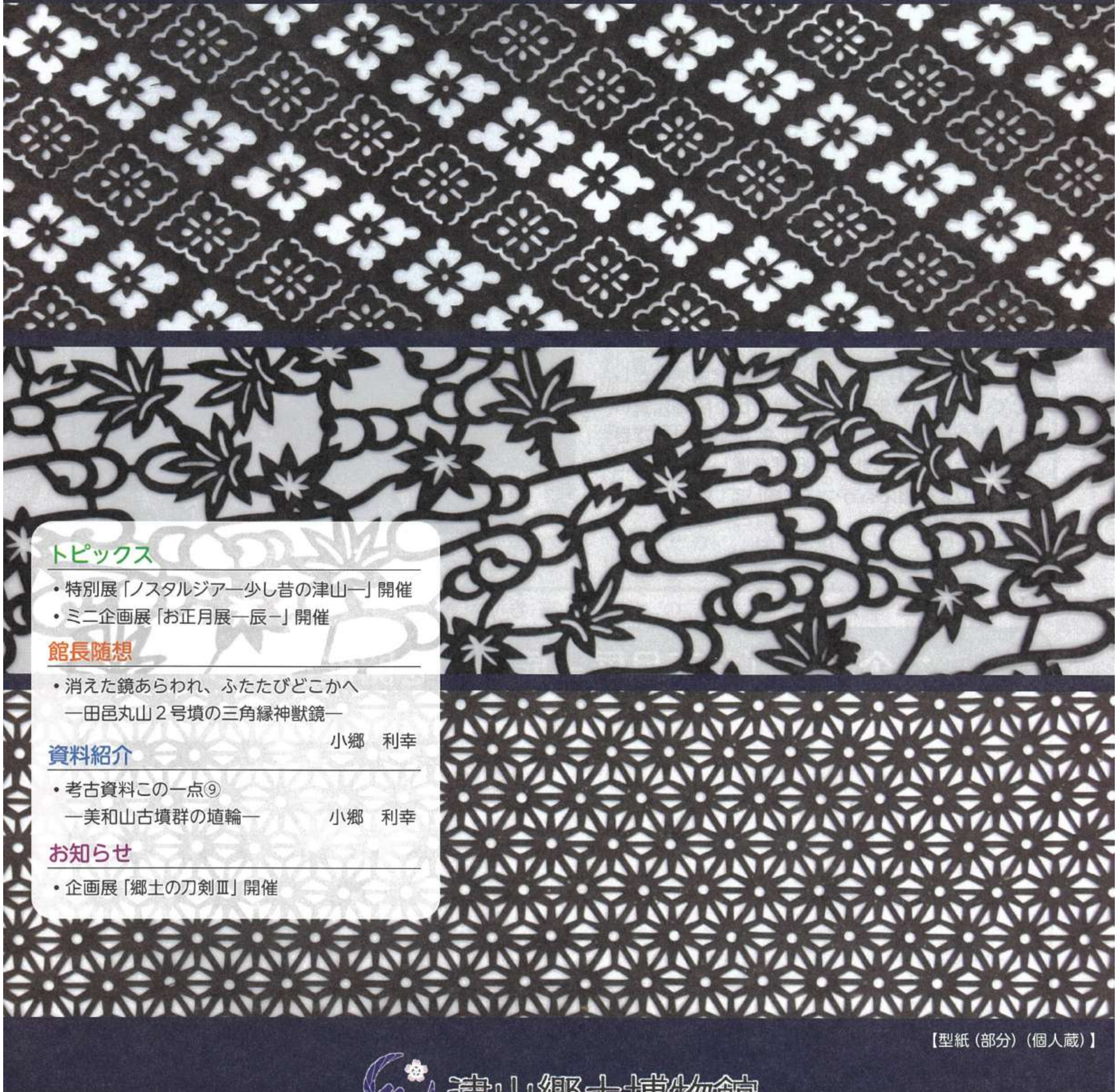
津山郷土博物館だより『つはく』

津博 TSUHAKU

2024.2 No.119



トピックス

- 特別展「ノスタルジア―少し昔の津山―」開催
- ミニ企画展「お正月展―辰―」開催

館長随想

- 消えた鏡あらわれ、ふたたびどこかへ
  ―田邑丸山２号墳の三角縁神獣鏡―
  小郷　利幸

資料紹介

- 考古資料この一点⑨
  ―美和山古墳群の埴輪―　小郷　利幸

お知らせ

- 企画展「郷土の刀剣Ⅲ」開催

【型紙（部分）（個人蔵）】

津山郷土博物館
Tsuyama City Museum

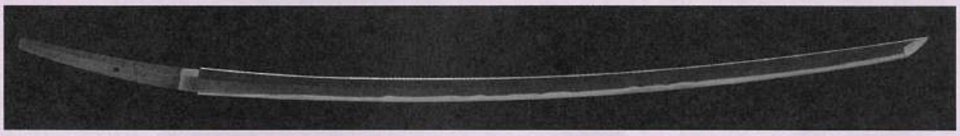
令和５年度企画展「郷土の刀剣Ⅲ」開催中

古来より鉄の産地として有名だった美作では、多くの刀工が、美作の鉄を使って刀を作ってきました。

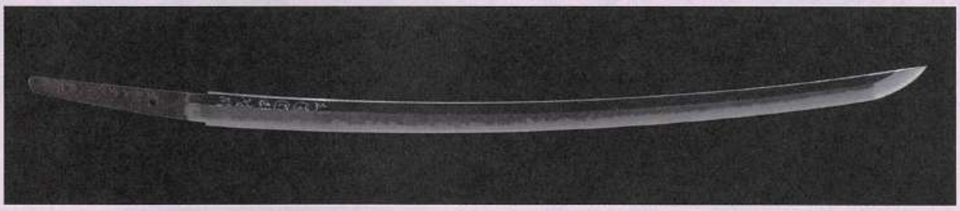
江戸時代になり、森忠政が美作一国を領すると、「兼先」や「兼景」といった刀工が津山に招かれ、作刀を始めました。彼らは森家改易後、松平家が領主となってからも作刀を続けました。

本展覧会では、江戸時代初期の「兼景」や中期の「細川正義」・「多田金利」らの刀剣をはじめ、現代の津山の刀工が打った現代刀等郷土津山にゆかりのある刀工の作品のほか、津山松平藩に伝えられた国宝「童子切安綱」の写しなど、約 20 点の刀剣類をご紹介します（展示期間は３月 24 日まで）。

- 休館日：２／ 19、26、27
  ３／４、11、18、21
- 入館料
  一般 300 円、高校・大学生・65 歳以上 200 円、中学生以下無料



太刀　童子切安綱写し



刀　兼景作

大身槍（岡山県指定重要文化財）

※次回の津山郷土博物館展示予定　企画展「江戸一目図屏風実物展示」
展示期間：令和６年３月 30 日（土）～令和６年５月６日（月・振替休日）

博物館だより「つはく」
No.119　令和6年2月29日
津博 TSUHAKU

［編集・発行］津山郷土博物館
〒708-0022 岡山県津山市山下92
Tel (0868) 22-4567
Fax (0868) 23-9874
E-mail tsu-haku@tvt.ne.jp
［印　　刷］二　葉

入館のご案内

［開館時間］午前9:00～午後5:00
［休 館 日］毎週月曜日・祝日の翌日
年末年始（12月29日～1月3日）・その他
［入 館 料］一般…300円
（30人以上の団体の場合240円）
高校・大学生…200円
（30人以上の団体の場合160円）
65歳以上…200円
（30人以上の団体の場合160円）

中学生以下・障害者手帳を提示された方は入館料が無料です

は、津山松平藩の槍印で剣大といい、現在津山市の市章となっています。